

#### 【文章記述について】

今年度はコロナ禍の制限がなくなり、計画通りの教育活動を行うことができました。ただすべてをコロナ前に戻すわけではなく、学校規模も大きく変わってきており、行事の精選、実施形態の変更を行っています。そのような中、多くの保護者の皆様からのご意見やご指摘、励ましのお言葉を多数いただき、本当にありがとうございました。

我々教職員一同、常に子供たちのことを考え、取り組みを進めています。また、教職員は共通認識のもとで、「チームあおやま」として組織的な対応に努めています。今回頂いた意見は参考にさせていただき、今後の教育活動に生かしていきます。

保護者の皆様のご意見を大切にしながら、本校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えます。子供たちの心豊かで健やかな成長を促すことのできる学校体制づくりに努めるとともに、引き続き保護者の皆様に、青山台小学校の子供たちを見守っていただきますよう、ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

#### ◇iPad関係、映像の配信について

音楽会等の学校行事をiPadを使って配信してほしいという意見が複数ありました。国から子供に貸与されているiPadは子供自身の学習活動に使用するものであり、ご家庭で視聴する学校行事の配信等はそれに該当しません。さらに個人情報保護等の観点からも今後も配信の予定はありませんのでご理解ください。

これまで吹田市の定める規定に則り、GIGAスクール構想のもと、子供たちの学習にとって有益なものになるように教職員全員で活用方法について研修、実践に努めてまいりました。これからの社会に出ていく子供たちにとって、iPad等の機器の有効活用は避けて通ることができません。デジタルシティズンシップ教育の考え方のもと、学校とご家庭で協力して端末の有効活用について進めていければと考えております。子供が持ち帰った時にはご家庭でもルールを決めていただき、活用を進めていただければと思います。

#### ◇学校行事の事前お知らせについて

学校行事やPTA行事等の内容を早くお知らせいただきたいとの声が多数ありました。HPに年度当初の年間行事予定については掲載していきます。また各行事の詳細については、概ね1か月前までに時間帯等を確定し、お知らせを出すようにしております。そちらで確認していただくようよろしくお願いします。

#### ◇個人懇談について

個人懇談についてご意見をいただきました。数年前より年2回に増やし、学校とご家庭が直接お話しする場の確保に努めています。内容については、学習や生活の様子、友達関係など多岐に渡ります。短い時間でなかなか伝えきれないこともあるかと思いますが、有意義な時間となるよう、今後も話の進め方などを考えていきます。また普段ご家庭で気になる様子があるようなら、いつでも学校にご相談ください。また学校までの自動車、自転車を使つての来校については周辺地域にご迷惑をおかけしますので、禁止にご理解ください。

#### ◇学校施設について

空調設備についてご意見をいただきました。学校の施設設備の設置、更新につきましては吹田市の計画的な予算執行のもと、年度ごとに実施校、日程が決まっております。施設改善につきましては毎年要望をあげています。

#### ◇学校のルールについて

集団生活を送る学校には、必然的にたくさんのルールがあります。入学時に基本的な過ごし方についてのきまりは紙面でお渡ししますが、すべてのルールを全体で基本はそろえますが、学年の発達段階もあり、すべて同じではありません。すべてを明文化してお伝えすることは難しいと考えます。子供たちには日常的にルールの意味や大切さを丁寧に伝えていきます。

#### ◇人権教育について

子供同士の関係はもちろん、教職員と子供の間も常に個人の尊厳、人権を意識した関係づくりは非常に大切です。教職員が人権意識を高く持ち、いじめ等の予防・早期の発見に努め、素早い組織対応が行えるよう、体制作りも引き続き進めてまいります。

#### 【児童アンケート】

##### ◇集計結果から

概ね肯定的な回答の割合が高いものの、「学校に行くのが楽しい」「クラスは安心できる」の項目に否定的な回答を選んだ子供が学年に一定数いることに注目し、学校運営に生かしていきます。

「授業はわかりやすく楽しい」「授業でわからないことについて先生に聞きやすい」「授業で自分の思いを話すことができる」の否定的な回答をする子供が高学年になるほど割合が少しずつ増加している。担任のみならず複数の教職員で子供に関わることに、学校全体で子供の声を拾い、効果的な指導に生かしていきます。

学校行事が楽しいという項目は肯定的な回答が非常に多い。通常の教育活動に戻り、行事も予定通りに実施できていることが大きいです。今後も子供たちにとって学びのある魅力ある行事を実施していくことで、自己肯定感を高めていきます。

例年通り「宿題や持ち物忘れ」についてできていないという回答がどの学年も2割から3割近くあり、引き続き改善していかなければならない現状があります。宿題や持ち物を揃えて学校に登校するという児童の意識は高いものの、そうならない実態があります。担任等が児童の実態に応じて伝達方法を考え、確実に伝えるとともに、ご家庭で声掛け、確認等のご協力をお願いします。

「地震や火災の時どうしたらいいか教えてもらっている」という項目は肯定的な回答がほぼ100%近くになっています。能登半島の地震もあり、自然災害はいつどのように起こるか予測不可能ですが、子供たち自身が命を守る行動がとれるよう、今後も防災、減災教育をご家庭と協力して進めていきたいと考えています。

